No.50
2018
10／12

はちおうじ FAXニュース

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索

懲罰的“乗務停止・日勤教育”では鉄道の安全は守れない!!

立川車掌区において、常軌を逸した乗務停止処分が行われています。

処分に至った経緯は

①武蔵小金井駅所定下り中線での待避の際に到着放送がなかった。

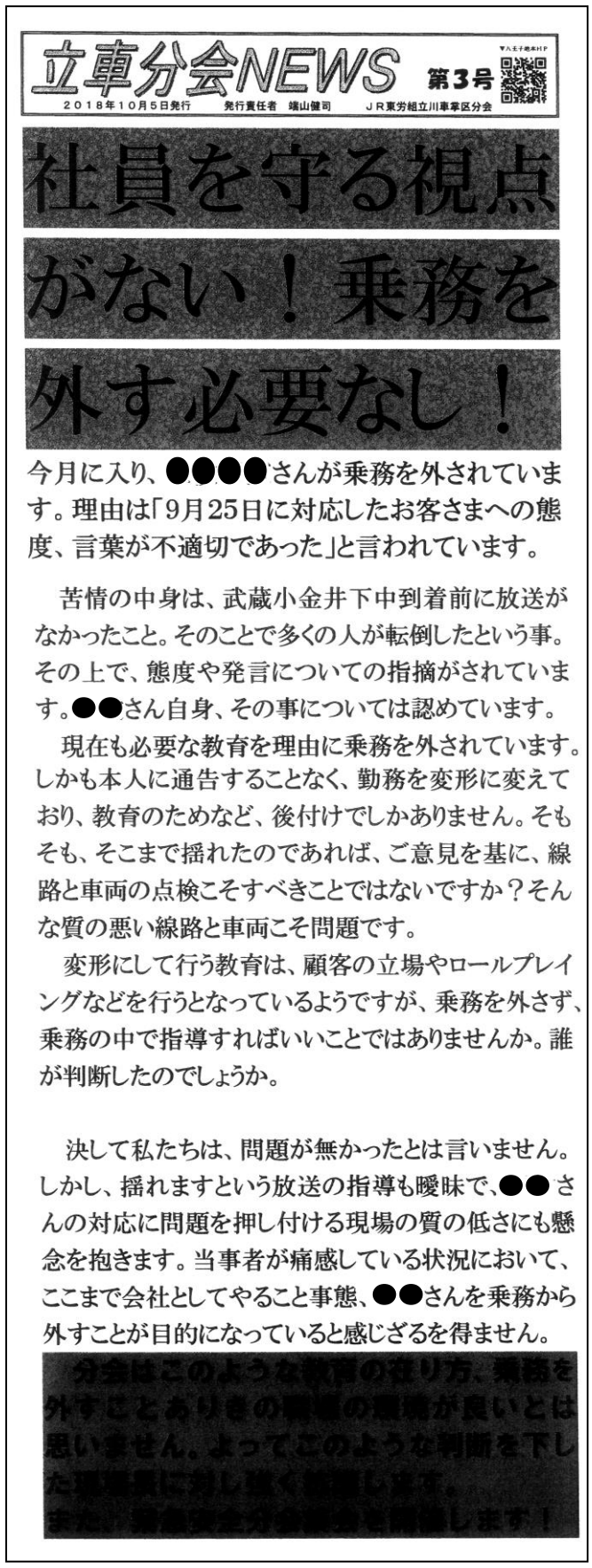
②そのため多くの旅客が転倒した。（旅客申告）

③当該旅客と対応した際の態度・発言

としています。

ポイント通過時の注意喚起放送が指導･整備されていない問題を棚に上げて本人の対応･態度のみに責任を切り縮める教育方法は明らかな誤りです。また、苦情申告した旅客の側の暴言や暴力的な態度には一切触れられていません。そもそも乗務を停止し再教育する本来の目的は知識･技能等、安全上重大な事象を起こしかねない要因の特定と克服にあります。旅客と対応した際の態度に問題があった事は本人も認め、真摯に反省をしていることからも、直ちに乗務を停止し日勤教育を行なう目的は他にあるのではないでしょうか。

責任追及は安全風土を崩壊させる！
職場に無用な混乱・動揺を持ち込む
懲罰的日勤教育は直ちに止めろ!!



立車分会NEWS 第3号
2018年10月5日発行　発行責任者　嶋山健司　ＪＲ東労組立川車掌区分会

社員を守る視点がない！乗務を外す必要なし！

今月に入り、●●●●さんが乗務を外されています。理由は「9月25日に対応したお客さまへの態度、言葉が不適切であった」と言われています。

苦情の中身は、武蔵小金井下中到着前に放送がなかったこと。そのことで多くの人が転倒したという事。その上で、態度や発言についての指摘がされています。●●さん自身、その事については認めています。

現在も必要な教育を理由に乗務を外されています。しかも本人に通告することなく、勤務を変形に変えており、教育のためなど、後付けでしかありません。そもそも、そこまで揺れたのであれば、ご意見を基に、線路と車両の点検こそすべきことではないですか？そんな質の悪い線路と車両こそ問題です。

変形にして行う教育は、顧客の立場やロールプレイングなどを行うとなっているようですが、乗務を外さず、乗務の中で指導すればいいことではありませんか。誰が判断したのでしょうか。

決して私たちは、問題が無かったとは言いません。しかし、揺れますという放送の指導も曖昧で、●●さんの対応に問題を押し付ける現場の質の低さにも懸念を抱きます。当事者が痛感している状況において、ここまで会社としてやること事態、●●さんを乗務から外すことが目的になっていると感じざるを得ません。

分会はこのような教育の在り方、乗務を外すことありきの職場の環境が良いとは思いません。よってこのような判断を下した[illegible]
また、[illegible]